

(2) 区のまちづくり目標

- 区のまちづくり目標については、「区のまちづくり目標総括シート」と「事業一覧シート」によって、区ごとにまとめている。

- ・ 「区のまちづくり目標総括シート」では、目標の実現に向けた「現状と課題」、「今後の取組みの方向性」をまとめている。
(「今後の取組みの方向性」には検討段階のものが含まれる。)
- ・ 7区で共通する課題など全市的課題については、分野別目標の51施策の「施策評価」で整理されているため、「区のまちづくりの目標」では、区ごとの特性や独自の取組みに関する課題に絞ってまとめている。

※事業の進捗状況の欄は、原則として、「活動の指標」、「成果の指標」の達成率を基に、次の「a」、「b」、「c」、「d」または「ー」のいずれかを記載している。

「a」・・・100%以上

「b」・・・75%以上100%未満

「c」・・・50%以上75%未満

「d」・・・50%未満

「ー」・・・数値が把握できないなど判定不能のもの

※指標を設定していない事業については、「事業の進捗状況に関する補足」の欄に説明を記載している。

※ 年度や年次については、平成27年度であれば「H27n」、平成27年であれば「H27」と表記している。

※ 平成27年事業費は、見込額を記載している。

区のまちづくり目標総括シート

東区	歴史と自然の魅力にあふれ、人が活躍し、活力を創造するまち・東区～住みやすいあんしんなまちづくりをめざして～
取組みの方向性	○安全で安心して暮らせるまち ○子どもが健やかに育つまち ○人を大切にし、みんながいいききと活躍できるまち ○新しい都市機能を担い、活力を創り出すまち ○歴史・文化、自然の魅力を生かし、新しい可能性を生み出すまち

1 区のまちづくりの目標に関する現状や課題

		年少人口（0～14歳）		生産年齢人口（15～64歳）		老年人口（65歳以上）		総数
H12	東区	40,553	(15.2%)	192,002	(71.9%)	34,448	(12.9%)	269,307
H17		38,850	(14.3%)	190,269	(70.2%)	42,065	(15.5%)	274,481
H22		41,272	(14.3%)	197,419	(68.4%)	50,090	(17.3%)	292,199
H27	全市	43,372	(14.2%)	196,285	(64.3%)	62,239	(20.4%)	305,295
		201,544	(13.2%)	999,401	(65.2%)	311,166	(20.3%)	1,531,919
		高齢者単独世帯数		単独世帯数		全世帯		*H27人口は9.1時点の推計人口 *総数には年齢不詳を含む。 年齢構成比算出にあたっては総数から年齢不詳を除外。
H12	東区	6,124	(5.4%)	46,878	(41.0%)	114,366		
H17		8,125	(6.9%)	47,262	(40.1%)	117,887		
H22		10,653	(8.0%)	56,811	(42.7%)	133,024		
	全市	59,995	(8.5%)	337,103	(47.7%)	706,428		

●安全で安心して暮らせるまち

- ・H21の豪雨災害にあった校区に配備している地域土嚢（約1万袋）について、一部で劣化が見られ整備が必要となっている。
- ・H24nに策定された「災害時要援護者避難支援対策に関する取組方針」に基づき、現在3校区と覚書を締結した。（従来の「災害時要援護者情報提供同意者名簿」に関する覚書の締結：11校区）
- ・津波警戒区域及び土砂災害警戒区域の中で、特に人家が多く災害リスクの高い校区については、重点的に避難体制を構築する必要がある。
- ・東区内でのH27の交通事故発生件数は、2,009件（前年比6件の減）、飲酒運転事故が12件（前年比4件の増）発生しており、さらなる取組みが求められる。
- ・セアカゴケグモの発見報告は、定期的な調査・駆除によりH26は598件・9,054匹、H27は465件・5,159匹と前年より大幅に減少したものの、発見校区は1校区増えて29校区中25校区に広がっているため、今後も定期的に継続した調査・駆除が求められる。

●子どもが健やかに育つまち

- ・東区の0～4歳の転出・転入者は、7区で最多である（H22国調：転出者1,487人、転入者1,514人）。また、0～4歳の外国人登録人口も486人（H27.9末住民基本台帳登録人口）で全市の47.4%を占めており、区の特性を踏まえた子育て情報の提供や子育て支援者のネットワークづくりを進める必要がある。
- ・幼児期の朝食摂食率を高め、基礎的な食習慣の確立を図るために「早寝早起き朝ごはん」事業を食生活改善推進員協議会と連携して実施しているが、事業の拡大・食育の推進にむけて活動校区（H27n：22校区）を全校区に広げる必要がある。

●人を大切にし、みんながいいききと活躍できるまち

- ・地域包括ケアシステムの推進のため、在宅医療と介護の連携推進事業では、職種を超えた医療と介護などの専門職で、市民向けシンポジウムの開催や多職種での症例検討会を実施した。
- ・また、高齢者地域支援事業は、東区29校区中15校区で地域ケア会議を開催し、地域包括ケアシステムに取り組んでいる。引き続き全校区で事業推進に取り組む必要がある。

- ・H27n からは、地域包括ケアシステムの課題解決のための仕組みとして、個別レベル、校区レベル、圏域レベル、区レベルの地域ケア会議を開催した。今後もそれぞれのレベルでの地域ケア会議を開催し、全市に共通する課題については、福岡市地域包括ケア推進会議に伝えていく必要がある。

●新しい都市機能を担い、活力を創り出すまち

- ・香椎駅周辺における土地地区画整理事業は、進捗率約 75.0% (H28.3 末、事業費ベース) と概ね計画どおりに進んでいるが、その進捗に伴い、新たな店舗の開店や商店街が再生されるまでの間、まちの賑わいを維持していく必要がある。
- ・アイランドシティ整備事業は、埋め立て竣功率約 97.0%，居住人口約 7,427 人（H28.3 末）と H39n の土地分譲終了に向けて事業を推進している。官民共助による先進的モデル都市づくりを進めるとともに、アイランドシティのまちづくり、みなとづくりについて、積極的に情報発信を行っていく必要がある。

●歴史・文化、自然の魅力を生かし、新しい可能性を生み出すまち

- ・志賀島（金印）という日本唯一の歴史・文化資源、海の中道や立花山、三日月山、多々良川などの豊かな自然を生かした地域活性化やまちづくりを進める必要がある。

2 目標実現に向けた今後の取組みの方向性

●安全で安心して暮らせるまち

- ・備蓄している約 1 万袋の土嚢を、H27n に引き続き計画的に交換していく（毎年約 2,000 袋）。
- ・災害時要援護者避難支援の取組みを推進するため、各校区に積極的に説明を行っていく。
- ・津波及び土砂災害に備えた地域の避難体制を構築するため、ハザードマップを使用した避難訓練などを実施するとともに、校区内連絡体制の構築を図る。
- ・H28 における交通事故発生件数の目標を 1,770 件以下とし、交通安全運動の推進を図る。
- ・セアカゴケグモの定期的な調査や駆除を徹底するとともに、講習会を行い面的な周知啓発を図る。

●子どもが健やかに育つまち

- ・子育てに不安を持つ保護者を支援するプログラムとして、「親子の絆づくりプログラム 赤ちゃんがきた! (BP)」,「ノーバディーズパーフェクト (NP)」,「効果的なしつけ (Eトレ)」を活用した子育て教室を実施する。
- ・地域や子育て支援団体等からなる「地域子育て支援会議」をさらに充実させ、地域の中でネットワークづくりや地域ボランティアの育成などを進める。
- ・食育の推進のため、「早寝早起き朝ごはん」事業の周知活動を自治協議会・衛生連合会・公民館等の関係団体や保育園・幼稚園・育児サークルなどに年間を通して様々な機会に実施する。

●人を大切にし、みんながいきいきと活躍できるまち

- ・在宅医療、介護等の連携を進めるために、東区を 4 つのブロックにわけて、ブロックごとの医療・介護・地域の取り組みを進めていく。まず、ブロックごとの基幹病院の役割について東区医師会と協議を進めていく。また、地域ケア会議を圏域ごとに開催し、地域課題の抽出を校区毎、圏域毎に行っていく。
- ・地域包括ケアシステム高齢者地域支援事業は、取り組みを開始した 15 校区について引き続き支援するとともに、今後全校区で、地域包括ケアシステムの構築に取組めるよう関係機関と連携して推進していく。

●新しい都市機能を担い、活力を創り出すまち

- ・「香椎まちなか美術館」や「香椎灯明まつり」など、地域、NPO、企業、行政が協力し、区内の大学の専門性や学生のマンパワーを活用して、香椎駅周辺におけるにぎわいづくり事業を定期的実施する。
- ・公・民・学で先進的モデル都市づくりを進めるとともに、アイランドシティのまちづくり、みなとづくりについて、積極的に情報発信を行っていく。

●歴史・文化、自然の魅力を生かし、新しい可能性を生み出すまち

- ・東区の自然の魅力をまとめたリーフレットの作成を検討するなど、東区の魅力発信の取組みをさらに強化。

事業一覧シート

【東区】歴史と自然の魅力にあふれ、人が活躍し、活力を創造するまち・東区
～住みやすいあんしんなまちづくりをめざして～

地域防災・防犯対策事業		所管課	東区総務部総務課	27年度事業費	4,379 千円
				28年度事業費	3,919 千円
対象	1. 安全安心マップ 東区内29校区全て 2. 土のう配備の適正管理 3校区(松島, 笠松, 多々良)	目的	1. 犯罪等のない安全で住みやすい校区にする。 2. 水害による被害をできるだけ最小限に留める。		
実施内容	1. 安全安心マップ (1) 29校区の内、3校区（多々良校区、松島校区、照葉校区）で安全安心マップの更新を実施 (2) 防災・防犯・交通安全について、各校区の特性に応じた注意箇所等を表記し、マップの更新を実施 2. 土のう配備の適正管理 多々良校区の土のう調査を実施し、劣化している土のうを更新するとともに、多々良校区及び松島校区の設置箇所の整備及び土のう配置マップを作成				
	指標内容	27年度目標	27年度実績	達成率	事業の進捗状況
活動の指標	安全安心マップ作成校区件数（新規・更新含む）	3	3	100%	a
成果の指標	3校区の水害による被害発生件数	0	0	0%	
補足	－				

地域の子育てネットワークづくり		所管課	東区保健福祉センター地域保健福祉課		27年度事業費	989	千円
					28年度事業費	97	千円
対象	乳幼児を持つ子育て中の親子とその地域	目的	東区に住む子育て中の母親が、孤立せず、地域の見守りの中で、つながりを持ちながら安心して育児が出来る。				
実施内容	1. 「地域子育て支援会議」の開催 14校区で16回開催 2. 「子育て情報ガイド」の更新 13校区で更新 17,000部 3. 育児支援ネットワーク会議で医療機関（産科・小児科）に子育てに関する情報発信と連携						
	指標内容		27年度目標	27年度実績	達成率	事業の進捗状況	
活動の指標	地域子育て支援会議の実施		17	16	94%	b	
成果の指標	－		－	－	－		
補足	－						

長野県安曇野市との交流事業		所管課	東区総務部企画振興課	27年度事業費	1,750 千円
				28年度事業費	1,000 千円
対象	区内に住む 小学5年生～中学2年生	目的	安曇野市との青少年の相互交流事業を通じて、東区民の連帯意識の高揚を図り、コミュニティづくりの推進に資する。		
実施内容	東区区民フェスティバル実行委員会の事業として、安曇野市との交流事業を実施 ・3泊4日の日程で安曇野市の青少年10名と引率6名を東区で受け入れ、東区の青少年10名と交流した。 ・主な交流として、博多湾での大型カッターボート操船や志賀島での海水浴、福岡市博物館での金印見学など、各種体験活動を行った。 ・これらの集団生活・体験を通じて、郷土の歴史や文化、風俗・風習などを学びあいながら、互いの生まれ育ったまちへの郷土愛を培った。				
	指標内容	27年度目標	27年度実績	達成率	事業の進捗状況
活動の指標	青少年受入回数（東区→安曇野市）[回]	1	1	100%	a
成果の指標	受入事業時の交流人数合計（東区及び安曇野市）[人]	20	20	100%	
補足	－				

自治会コミュニティ応援事業 (H25nまでは「地域コミュニティ担い手発掘・育成事業」として実施)			所管課	東区総務部地域支援課	27年度事業費	473	千円
					28年度事業費	1,680	千円
対象	自治会・町内会 各種団体の関係者	目 的	地域のまちづくりを担う自治協議会等の役員の育成と新たな担い手の発掘ができ、コミュニティの活性化・組織強化が図られる状態にする。				
実施内容	1. 外部講師を招いたワークショップの実施（美和台・八田・青葉・千早西）						
	【校区】	【内容】	【回数】	【参加数(延べ)】	【講師】		
	(1) 美和台	自治会・町内会長および役員対象の研修会	3回	75人	瀧本浩一外		
	(2) 八 田	自治会を対象に、防災の取組・災害時の対応に特化した研修会	4回	242人	東区あん・あんリーダー会 外		
	(3) 青 葉	自治会・町内会の3役および住民を対象とした防災訓練や研修会	3回	963人	十時 裕外		
	(4) 千早西	自治会・町内会の3役を対象とした研修会	1回	50人	おやじの会 外		
2. 自治活動に関する研修会や会計処理などの実務者研修の実施 自治協議会(自治会・町内会)対象実務者研修 4校区 101人							
	指標内容		27年度目標	27年度実績	達成率	事業の進捗状況	
活動の指標	研修会・ワークショップ回数		20	16	80%	a	
成果の指標	研修会・ワークショップ受講者数		600	1431	239%		
補足	H28nからは、「地域の担い手パワーアップ事業」として実施。						

大学・地域まちづくり事業（東部地域三大学連携事業）		所管課	東区総務部企画振興課		27年度事業費	800	千円
					28年度事業費	400	千円
対 象	地域住民 （福岡女子大学） （九州産業大学） （福岡工業大学）	目 東区や地域の魅力・資源を評価し、地域課題を把握し、地域に愛着・誇りを持って地域課題の解 的 決に向け活動している。					
	○東部地域三大学連携推進委員会へ事業を委託 ○事業概要 学生がアイランドシティの歴史や地域課題等を調査し、地域への提言を発表する 「アイランドシティにおける地域の環境・景観・歴史との調和を探して」 成果発表会 日時：H28.3.5(土) 10：45～（1時間程度） 場所：照葉公民館 発表会参加者：20名程度（地域住民、市関係課）						
実 施 内 容							
	指標内容	27年度目標	27年度実績	達成率	事業の進捗状況		
活動の指標	公開講座等を開催した回数	1	1	100%	a		
成果の指標	－	－	－	－			
補足	－						

東区いきいきまちづくり提案事業			所管課	東区総務部企画振興課	27年度事業費	2,978	千円
					28年度事業費	3,838	千円
対象	地域団体 NPO 企業	目 様々な分野で自治協議会だけでなく、多様な主体が連携・共働し、地域・まちづくりに取り組む 的 地域となっている状態にする。					
	事業提案を公募し、事業評価会での審査を踏まえ補助事業を決定（1次審査：書類審査，2次審査：公開プレゼンテーションによる審査） ・助成団体数：10団体 ・助成金交付額：2,000千円（10団体合計） ・助成事業： ①志賀島の認知度向上と来訪促進 ②千早並木グローバルフェスティバル ③アートベンチによる潤いのある街づくり事業 ④ママのチャレンジサポート事業～夢をカタチに～ ⑤志賀島に見に来んね『みんなで明るい島創り』 ⑥放生会特別企画 ハコフェス2015 ⑦DREAM ART GARDEN 2015（叱られたい僕らがお年寄りとコラボするプロジェクションマッピング） ⑧世界の貧困を疑似体験する参加型ワークショップ ⑨東区まちめぐりツアーデザイン ⑩ふれあい環境教室						
実施内容							
		指標内容	27年度目標	27年度実績	達成率	事業の進捗状況	
活動の指標	補助金の助成件数		10	10	100%	a	
成果の指標	補助金への申請件数		10	11	110%		
補足	－						

芸術と文化の香りあふれるまちづくり推進事業			所管課	東区総務部生涯学習推進課	27年度事業費	2,375	千円
					28年度事業費	3,000	千円
対象	芸術文化活動者及び芸術文化にある程度の関心がある区民	目的	東区の区民、芸術文化団体、企業、学校、行政など多様な主体が、文化芸術活動の活性化に向けて主体的に取り組むを進める。				
実施内容	東区における芸術・文化のシンボリックな新しいイベントとして、区内に居住してあるプロ（セミプロ）の音楽家や文化活動家などによる「東区芸術祭」を2日間開催し、参加した市民に対し、質の高い芸術・文化をより身近に感じる機会を提供した。 ・展示の部（H27.11.28～H27.11.29）参加者440名 ・フラワーコンサート（H27.11.29）参加者270名 ・PR冊子「アートな東区」の発行 5,000部						
	指標内容		27年度目標	27年度実績	達成率	事業の進捗状況	
活動の指標	東区芸術祭の参加者数		610	710	116%	b	
成果の指標	市民センターの年間利用者数		83,000	82,462	99%		
補足	H28nは文化フェスティバル事業として実施。						

区のまちづくり目標総括シート

博多区	お互いが支え合い，安心して人が暮らし，歴史と伝統が息づくまち・博多区
取組みの方向性	○お互いが支え合い，交流し，健やかに暮らせるまち ○安全で安心して暮らせるまち ○歴史と伝統を生かしたにぎわいのあるまち

1 区のまちづくりの目標に関する現状や課題

		年少人口（0～14歳）		生産年齢人口（15～64歳）		老年人口（65歳以上）		総数	
H12	博多区	22,249	(12.3%)	133,247	(73.8%)	24,958	(13.8%)	180,722	
H17		22,015	(11.6%)	138,342	(73.1%)	28,898	(15.3%)	195,711	
H22		21,276	(10.4%)	148,740	(72.8%)	34,371	(16.8%)	212,527	
H27		22,848	(10.0%)	155,428	(68.0%)	42,085	(18.4%)	228,489	
	全市	201,544	(13.2%)	999,401	(65.2%)	311,166	(20.3%)	1,531,919	
		高齢者単独世帯数		単独世帯数		全世帯		*H27人口は9.1時点の推計人口	
H12	博多区	6,794	(7.5%)	48,177	(53.1%)	90,776	*総数には年齢不詳を含む。 年齢構成比算出にあたっては 総数から年齢不詳を除外。		
H17		8,286	(8.4%)	54,166	(55.0%)	98,573			
H22		11,512	(9.3%)	79,610	(64.2%)	124,070			
	全市	59,995	(8.5%)	337,103	(47.7%)	706,428			

●お互いが支え合い，交流し，健やかに暮らせるまち

- ・単身世帯の割合が指定都市で最も高い福岡市（H22 国調：47.7%）にあつて，博多区は7区で最も高い（同：64.2%）。また，博多区は単身高齢者世帯の割合も7区で最も高く（同：9.3%），高齢化率（65歳以上の高齢者の割合）も上昇傾向にある。
- ・超高齢社会の到来に備え，高齢者が住み慣れた地域で安心して生活を続けられるための体制づくりが求められている。
- ・若い世代の転入が多いことや，出生数の増加もあり，育児不安を抱えている母親が増えており，安心して子育てができる体制づくりが求められている。

●安全で安心して暮らせるまち

- ・交通事故発生件数，犯罪認知件数が7区で最多，自転車の放置率が7区で2番目に多く，事故や犯罪が少ない安全なまちづくりが求められる。放置自転車対策は，特に，夜間の中洲地区において有効な対策が必要。
 - *交通事故発生件数：2,855 件（前年度比 68 件減）
 - *犯罪認知件数：4,093 件（前年度比 716 件減）
 - *自転車の放置率（H27.10）：6.9%（前年同月比 4.9ポイント減）
- ・災害時要援護者避難支援対策では，避難支援計画の策定など実効性のある支援体制の構築を目指し，2校区でのモデル事業を経て，新たに4校区と協議を開始し美野島校区と避難支援計画の策定が完了した。引き続き他校区へ拡大中。
- ・生活道路について，損傷が激しい箇所数は7区で最多となっており，博多区に約4割が集中していることから，計画的な維持修繕が必要。

●歴史と伝統を生かしたにぎわいのあるまち

- ・寺社や名所旧跡，伝統ある祭り，伝統工芸など優れた歴史文化資源が多数あり，これまでこうした歴史文化資源をいかした様々な取組みが，地域と連携し，長年にわたって積み重ねられた結果，その魅力を大きく高めてきた。また，九州新幹線全線開通以降，H28 の KITTE 博多，JRJP 博多ビルに至る一連の再開発や，エリアマネジメント団体による賑わいの創出により，来訪者が大きく増加している。今後も，地域と連携し，回遊性の向上や歴史文化資源の魅力の発信力強化を図っていく必要がある。

＊JR 博多駅乗降者数 100,235 千人（前年比 3,203 千人増）

＊博多ガイドの会案内人数 定点ガイド 9,232 人，派遣ガイド 744 人，期間限定ガイド 643 人

＊博多ライトアップウォーク延べ入場者の推移 H25：91,101 人，H26：124,521 人，H27：116,214 人

2 目標実現に向けた今後の取組みの方向性

●お互いが支え合い，交流し，健やかに暮らせるまち

- ・「地域包括ケアシステム」の構築を目指し，医療と介護の連携強化を図るとともに，地域において住民による支え合い助け合いの仕組みづくりを推進する。
- ・相談・支援体制を強化し，児童虐待防止の取組みを進める。また，子育て支援コンシェルジュ等の活用により保育施設等の待機児童の解消を図る。

●安全で安心して暮らせるまち

- ・路面シート（自転車放置禁止区域）の貼付（H28n 50 か所整備予定），歩行空間の整備や交通安全施設の整備など，安全で快適な生活基盤の整備を実施する。
- ・各地域で行っている安心安全マップの更新や防犯教室（H27n 42 回開催）をはじめとした地域の防犯活動を支援していく。
- ・災害時要援護者避難支援対策では，H26n に実施したモデル 2 校区での取組結果をもとに，新たに 4 校区と協議を行なった。
- ・博多駅周辺地区や中洲川端駅周辺地区をはじめとした区内の自転車放置禁止区域や，放置常習箇所を対象として，街頭指導員の配置等による啓発活動や即日撤去を効果的且つ効率的に実施する。また，既設駐輪場の利便性向上や新たな駐輪場の整備を進める。
- ・「福岡市生活道路アセットマネジメント基本方針」（H26.3 策定）に基づき，施設の点検・修繕を計画的に行うことで，施設の延命化を図るとともに，費用対効果の高い施設の維持・管理に取り組む。

●歴史と伝統を生かしたにぎわいのあるまち

- ・博多ライトアップウォークやガイドの会によるまち歩き事業の充実などにより，歴史や伝統文化を活かし，地域・企業・行政が連携して，集客力の向上とまちの活性化を図る。
- ・歴史的景観と調和の取れた道路整備などにより，回遊性の向上を図る。

事業一覧シート

【博多区】お互いが支え合い、安心して人が暮らし、歴史と伝統が息づくまち・博多区

放置自転車対策事業		所管課	博多区地域整備部 自転車対策・生活環境課	27年度事業費	8,031 千円
				28年度事業費	7,623 千円
対象	自転車利用者	目 道路及び公園利用者の安全で快適な空間の確保及び都市景観の向上の一つの方策として、自転車利用者の自転車放置を防止する。			
実施内容	・一斉撤去（委託）70回。うち、中洲地区24回（昼11回、夜13回） ・路面シートの作成・貼付（博多駅筑紫口）149箇所（新規18、張替131） ・主な放置常習箇所に注意板の取付、及びコーンの設置を行い、駐輪場利用を啓発（随時） ・主な放置常習箇所に街頭指導員を配置し、駐輪場案内、及び自転車放置禁止区域を周知・啓発（通年）				
	【中洲地区】 ・夜間（19:30～20:30）の放置自転車の台数が65%減（禁止区域指定前：1,977台→693台） ・夜間帯（夜10時まで、H27.9月～）に街頭指導員を配置 ・駐輪場案内チラシを配布（自転車利用者、町内会、中洲地区の風俗店、飲食店事業者向け）				
	※実績はH28.2末時点				
	指標内容	27年度目標	27年度実績	達成率	事業の進捗状況
活動の指標	—	—	—	—	a
成果の指標	博多区内放置率（%）	11.00%	6.90%	159%	
補足					

地域防犯推進事業		所管課	博多区総務部総務課		27年度事業費	1,178	千円
					28年度事業費	1,118	千円
対象	地域の防犯組織	目的	犯罪が起きにくい地域づくり, 犯罪に遭いにくい方法を習得し, 地域住民への反映を図る。				
実施内容	・博多警察署や市民局の協力を得, 防犯教室を42回実施した。 ・博多警察署や博多防犯協会の協力を得, 博多区地域防犯活動研修会を実施した。 ・地域に対し, 街頭犯罪防止に向けた物資支援を18校区実施した。 ・ふっけい安心メール・生活安全課・警察・地元住民等からの情報網を駆使し, 地域への情報提供及び登下校時のパトロールを実施した。 ・3校区で安心安全マップ（地域独自のマップ含む）が更新された。						
	指標内容		27年度目標	27年度実績	達成率	事業の進捗状況	
活動の指標	防犯教室等の実施		44	45	102%	a	
成果の指標	—		—	—	—		
補足							

博多ライトアップウォークの推進		所管課	博多区総務部企画振興課	27年度事業費		11,000	千円
				28年度事業費		11,000	千円
対象	市民及び観光客	目的	長い歴史や豊かな伝統文化を有する博多部において、更なる魅力の創出と回遊性の向上を図り、集客力向上とまちの活性化を図る。				
実施内容	会場数やコンテンツを見直し事業費支出を抑制するとともにチケットの販売方式を見直した結果、事業収支が大幅に改善した。また、会場数は減ったにもかかわらず、延べ入場者数は11万6千人となり目標を達成できた。						
	指標内容		27年度目標	27年度実績	達成率	事業の進捗状況	
活動の指標	延べ入場者数		100,000	116,214	116%	a	
成果の指標	—		—	—	—		
補足	会場によっては長時間の待ち時間が発生したため、混雑緩和対策を検討する必要がある。						

地域密着型の集客・まちづくり		所管課	博多区総務部企画振興課		27年度事業費	5,951	千円
					28年度事業費	5,551	千円
対象	市民及び観光客	目的	「来街者と地域住民の両者が潤い元気なまちづくり」を理念に、博多部の企業や地域住民と連携し、地域振興や地域活性化を図る。				
実施内容	・博多の魅力発信会議の運営 地域住民・企業・行政で構成する会議を定期的に開催し、「博多秋博」広報キャンペーン、「博多の魅力」ＨＰの運営や広報パンフレット配布等の情報発信を行った。 また、承天寺通りの賑いづくりとして「千年門灯明まつり」の実施や、新しい博多の観光パンフレットを制作するなど、新たな魅力発信事業を企画実施するとともに、地域が行う「博多灯明ウォッチング」の支援などを行った。						
	指標内容		27年度目標	27年度実績	達成率	事業の進捗状況	
活動の指標	「博多の魅力」ＨＰアクセス数（月間ＰＶ）		200,000	118,583	59%	C	
成果の指標	－		－	－	－		
補足	H27nから、まちづくり負担金の集約を図り、博多の魅力発信会議の機能の充実を図っている。						

おもてなしの人材活用事業		所管課	博多区総務部企画振興課	27年度事業費	1,475	千円
				28年度事業費	1,528	千円
対象	観光客	目的	ガイドや地域の人々がおもてなしの心で迎えることによって、長い歴史や豊かな伝統文化を有する博多の魅力を発信するとともに、地域密着型の活動を行い、地域振興や地域活性化を図る。			
実施内容	・博多ガイドの会の活動支援 博多の地域に密着したガイド活動を行う「博多ガイドの会」の定例会や役員会へのオブザーバー参加や、まち歩き企画の広報や事務的補助などの活動支援を行った。					
	・博多ガイドの活動内容 定点ガイド 東長寺や博多千年門で年間を通じて実施 派遣ガイド 4つのモデルコースを基本にガイドを実施 地域密着型企画ガイド 春や秋に地域の飲食店等と連携し、飲食や土産付の期間限定限定ガイドを実施					
	指標内容		27年度目標	27年度実績	達成率	事業の進捗状況
活動の指標	まち歩き参加者数		1,200	1,734	145%	a
成果の指標	－		－	－	－	
補足	－					

区のまちづくり目標総括シート

中央区	人が集い、人が輝き、人がやさしいまち「中央区」 ～にぎわい・元気・安心がつながるまちをめざして～
取組みの方向性	○自然、歴史、地域の魅力を生かした、にぎわいのあるまち ○思いやりの心で人がつながり、元気に暮らせるまち ○誰もが安心して暮らせるまち

1 区のまちづくりの目標に関する現状や課題

		年少人口（0～14歳）		生産年齢人口（15～64歳）		老年人口（65歳以上）		総数
H12	中央区	16,380	(10.9%)	115,013	(76.2%)	19,478	(12.9%)	151,602
H17		17,043	(10.5%)	122,962	(75.4%)	22,974	(14.1%)	167,100
H22		17,562	(10.1%)	127,849	(73.8%)	27,724	(16.0%)	178,429
H27	全市	19,235	(10.1%)	132,575	(69.3%)	34,236	(17.9%)	191,296
		201,544	(13.2%)	999,401	(65.2%)	311,166	(20.3%)	1,531,919
		高齢者単独世帯数		単独世帯数		全世帯		
H12	中央区	5,683	(6.9%)	47,521	(57.6%)	82,522	*H27人口は9.1時点の推計人口 *総数には年齢不詳を含む。 年齢構成比算出にあたっては総数から年齢不詳を除外。	
H17		6,848	(7.4%)	54,284	(59.0%)	91,929		
H22		9,473	(8.9%)	67,499	(63.2%)	106,825		
	全市	59,995	(8.5%)	337,103	(47.7%)	706,428		

●自然、歴史、地域の魅力を生かした、にぎわいのあるまち

- ・福岡市における入込観光客数は、H22(1,642万人)からH26(1,855万人)の5年間で213万人増加しているが、そのうち約68%は日帰り客であるため、都心部の魅力を生かした回遊性の向上を図る必要がある。
- ・H26は大河ドラマ「軍師官兵衛」の放送もあったことも追い風となり、歴史の魅力を生かしたにぎわいが醸成されたが、一過性にならないように切り口を工夫するなど、地域における歴史・文化資源を有効活用していく必要がある。

*H26.6 福岡城跡整備基本計画策定、セントラルパーク構想策定

*H27.3 国史跡鴻臚館跡整備基本構想策定

*H28.3 旧大名小学校跡地まちづくり構想策定

●思いやりの心で人がつながり、元気に暮らせるまち

- ・住民自治意識の希薄化や、役員の担い手不足などにより、主体的な地域づくりに課題がある。
- ・共同住宅居住世帯の割合が約90%と高く、転出入者も多いため、コミュニティの希薄化が進み、世帯の孤立化が懸念される。
- ・区の高齢化率は約17.9%（H27.9）であり、高齢者単独世帯は8.9%（全市平均8.5%）と市内で高い水準にあるため、健康維持や日常からの支援体制の確立が必要。
- ・妊娠中・出産直後・未就園児のいる世帯の転入者が多く、地域での子どもの見守りを充実させ、安心して子どもを産み育てることができる環境づくりが必要。

※H28.4 福岡市立中央児童会館のリニューアルオープン

●誰もが安心して暮らせるまち

- ・各校区・地区においては防災意識の啓発に取り組んでいるが、日頃からの備えや防災意識の醸成が十分ではない状況にある。また、災害情報の伝達手段を確立することが必要。
- ・H27における中央区の街頭犯罪件数は、減少傾向にあるものの1,742件(全市平均1,506件)と高い水準となっているため、地域の防犯意識の高揚や地域が主体的に行うパトロール活動を促進し、犯罪が発生しにくい環境づくりの促進が必要。
- ・陥没等による道路の補修件数は、年間2,000件から3,000件に上るため、誰もが安心して利用できる道路や歩行空間の整備推進が必要。
- ・天神地区を中心に放置自転車撤去の強化を図ってきた結果、日中は減少傾向にあるものの、夜間・休日には依然として多くの放置自転車が見受けられる。

2 目標実現に向けた今後の取組みの方向性

●自然、歴史、地域の魅力を生かした、にぎわいのあるまち

- ・国家戦略特区の指定を踏まえ、民間活力を生かした「にぎわい」拠点や回遊軸づくりを推進。
- ・エリアマネジメント団体である「We Love 天神協議会」との共働による、にぎわいと憩いの創出。
- ・福岡城跡や舞鶴公園の魅力を観光資源として活用し、福岡城周辺エリアの活性化を推進。

●思いやりの心で人がつながり、元気に暮らせるまち

- ・地域課題の解決や公民館新規利用者を増やすため、公民館とNPO等が共働で実施する事業を支援するとともに、地域における新たな担い手の開拓を推進。
- ・住まい、医療、介護、予防、生活支援が一体的に提供されるシステムづくりを推進。
- ・アラ還世代（55～69 歳）や若い世代（20～30 歳代）の健康に対する啓発活動の推進。

●誰もが安心して暮らせるまち

- ・校区の防災活動をサポートすることで、地域の自主防災力の向上を図るとともに、土砂災害や道路冠水状況を速やかに把握し、関係する地域への連絡体制の確立を図る。
- ・地域における防災・防犯等に関する自主的取り組みをより活発にするため、安全安心をテーマにした参加体験型イベント「中央区安全・安心フェスタ」を地域や企業などと連携し、区をあげて実施する。
- ・各校区・地区住民、企業、区役所、警察が連携し、各校区・地区において提起される問題や課題の解決に向けた取り組みを実施し、犯罪のない環境づくりを推進。
- ・歩道のフラット化などユニバーサルデザインに基づいた整備を行うとともに、通学路や自動車の通りの多い危険箇所における歩道・歩行空間等の改良、都心部の活力の向上を目指した都心回遊空間の整備を推進。
- ・道路利用者の安全で快適な通行空間を確保するため、夜間・休日の撤去を本格実施するなど、放置自転車対策の強化や自転車駐輪場を整備し、人と自転車が共生できるまちづくりを推進。

事業一覧シート

【中央区】人が集い、人が輝き、人がやさしいまち「中央区」
～にぎわい・元気・安心につながるまちをめざして～

都心部まちめぐり推進事業		所管課	中央区総務部企画振興課		27年度事業費	－	千円
					28年度事業費	－	千円
対象	来街者、地域住民	目 通りの名称付や名称標示,「まち歩きマップ」等の活用により, 分かりやすく, 案内しやすい, まちの実現的（都心部の回遊性の向上）を図る。					
実施内容	①まち歩きイベントの実施（大名・西中洲地区・計50人） それぞれの地区の魅力を生かしながら、既存のまち歩きマップを生かした夜のまちあるきを実施（全5日間） ②民間イベントと連携したスタンプラリー・中央区PRステージの実施(587人) ③まち歩きマップ（天神地区）の増刷・配布（1,000部）						
	指標内容		27年度目標	27年度実績	達成率	事業の進捗状況	
活動の指標	まち歩きイベントの参加者数		250	637	255%	b	
成果の指標	まち歩きイベントでのアンケート（通り名称認知度）（%）		60.0	32.6	54%		
補足	－						

中央区歴史・文化を生かしたまちづくり推進事業		所管課	中央区総務部企画振興課		27年度事業費	1,232	千円
					28年度事業費	1,342	千円
対象	来街者，地域住民		目的	まちの魅力が向上して来街者が増加し、地域住民の自分の住んでいるまちへの愛着が高まっている状況。			
実施内容	①「福岡ヒストリー甲冑づくり講座」を実施 【目的】地域住民の「城があった街」という意識や、福岡城跡への愛着を育む 【内容】・プラスチック素材の甲冑づくり（完成品は区へ帰属し、地域行事等へ活用を予定）→2領完成しイベントへ貸出 ・外部より造形作家を講師として招聘 ・受講者13名（市内在住，在勤者を公募） ・7～12月の間に計12回実施 ・制作の合間に「ミニ歴史講座」を2回実施 ②福岡城さくらまつり，おおほりまつりのPRのために，ポスター，リーフレットを作成・配布（ポスター200部，リーフレット14,240部） さくらまつり会場内設置のステージ設営運営を委託						
		指標内容	27年度目標	27年度実績	達成率	事業の進捗状況	
活動の指標	完成した甲冑の数		4	2	50%	C	
成果の指標	第9次福岡市基本計画の成果指標に関する意識調査（舞鶴公園（福岡城跡）への来園経験）		-	57.6%	-		
補足	-						

地域コミュニティ活動活性化支援事業		所管課	中央区総務部地域支援課		27年度事業費	3,994 千円
					28年度事業費	3,795 千円
対象	14校区・地区の自治協議会 自治会・町内会 地域住民		目 地域の主体性を尊重し、自治会・町内会や自治協議会等が地域コミュニティを活性化し、地域による自治的を確立させる。			
実施内容	①自治会・町内会長交流会（地域デビュー応援事業の事例発表と意見交換会 H28.2.26） ②キラリ校区支援事業（地域課題解決の意欲がある校区を対象にワークショップ等の開催を支援） ③広報力充実支援事業（校区ＨＰやブログの開設及び運営を支援） ④公民館じょいんとプロジェクト （公民館とＮＰＯの共働促進事業：大名・箕子・舞鶴・平尾・小笹・笹丘・草ヶ江・当仁・赤坂・高宮） ⑤安全・安心マップ（多くの住民の参加を得てＤＩＧ（災害図上訓練）や校区の安全点検等を実施しマップを作成：平尾）					
	指標内容		27年度目標	27年度実績	達成率	事業の進捗状況
活動の指標	公民館主催事業の参加者数		45,000	43,521	97%	b
成果の指標	住民の地域活動参加率（市政アンケート中央区の結果）		未実施	未実施		
補足	平成27年度から指標を変更					

乳幼児子育て安心事業		所管課	中央区保健福祉センター健康課・地域保健福祉課・子育て支援課		27年度事業費	2,728 千円
					28年度事業費	2,728 千円
対象	乳幼児とその保護者	目的	こどもの発育・発達等に不安を持つ母親が気軽に相談できる場を提供し、安心して子育てができるようにする。			
実施内容	①母子何でも相談：1回／月実施。助産師による相談を実施し、延べ586組が参加 ②ちょっと気になる子の子育てサポート事業：親子教室1回／月、個別相談2回／年実施。延べ89組の親子が参加 ③子育て安心セミナー：生後2～3か月の第一子とその母を対象に月に1回開設。産後間もない時期の不安の解消を目的に、育児講話、母親同士の交流、個別相談を実施。 ④子育て安心セミナーフォロー講座：年間4回開催。H26n参加者すべてに満1歳の時点で案内はがき（H26.4～H27.3生まれとその保護者）。セミナー参加者は育児不安が高い母親が5割近くを占めるため、その後の不安感や育児状況に対するフォローを目的に試行的に実施。ほぼすべての母がサロンやサークル等を利用しながら不安なく育児を楽しめていることをアンケート結果で把握、よってフォロー講座はH27nで終了とする。 ⑤子育て情報マップの作成・配布					
	指標内容	27年度目標	27年度実績	達成率	事業の進捗状況	
活動の指標	子育て安心セミナー参加者（組）	240	262	109%	b	
成果の指標	3歳児健診時子育てが楽しいと思う保護者の割合（％）	80.0	78.5	98%		
補足	－					

アラ還世代のための還活大学			所管課	中央区保健福祉センター地域保健福祉課	27年度事業費	1,532 千円
					28年度事業費	1,212 千円
対象	中央区に居住及び中央区に勤務する55歳～69歳の男女	目的	①退職後や子育て後も、年1回健診を受け、自身の健康管理ができること。また、その時期特有の疾患について理解し、自ら予防策をとることができる。 ②地域の公民館に出向いたり、地域活動に参加したりすることで、居住する地域につながりをもつことができる。			
実施内容	①講座の開催：基礎講座4回×1コース、応用講座4回×1コース、7回×1コース（うち2回は次年度持越し） ②フォローアップ講座の開催3回 ③教室生の自主グループワーク支援2回 ④教室卒業生によるウォーキング講座1回 ⑤教室卒業生によるウォーキングマップの作成と配布（200冊） ⑥アラ還を支える関係団体との連携会議1回 ⑦シニアのための情報冊子の配布（H25作成シニアのための知恵袋スマートシニアブック） ⑧教室継続参加意欲向上を目指したグッズの活用（スマートシニアバッジ、学生証、卒業証書など）					
	指標内容	27年度目標	27年度実績	達成率	事業の進捗状況	
活動の指標	教室受講者数（人）	460	406	88%	b	
成果の指標	講座参加者のうち、年1回検診を受けた方の割合（％）	90.0	87.0	97%		
補足	－					

人と自転車が共生できるまちづくり事業		所管課	中央区地域整備部道路適正利用推進課		27年度事業費	9,287	千円
					28年度事業費	9,297	千円
対象	自転車利用者	目 道路利用者の安全で快適な空間の確保及び都市景観の向上の一つの方策として、自転車利用者の自転車の放置を防止する。					
実施内容	①モラルマナー啓発：街頭指導員述べ約14,000人 ②放置自転車の撤去：15,148台						
	指標内容	27年度目標	27年度実績	達成率	事業の進捗状況		
活動の指標	有料駐輪場の利用者数(1日平均利用者数)	-	5,975	-	a		
成果の指標	放置率(%)	10.0	9.1	110%			
補足	-						

食と美容の安全・安心プロモーション事業			所管課	中央区保健福祉センター衛生課	27年度事業費	1,577 千円
					28年度事業費	1,500 千円
対象	1 事業者	目的	食中毒予防、健康被害防止に関する正しい知識を身につけてもらい、食中毒事件、美容施術による事故の発生を未然に防ぐ。			
	2 子供の保護者、学生等					
	3 美容に関心の高い世代					
実施内容	1 食の安全・安心の推進	・食肉の生食による食中毒を防止するため、事業者に対し施設監視や講習会等で提供自粛を指導した（講習会67回）。また、市民に対し、街頭キャンペーンでパンフレットを配布する等、生食肉を食べることの危険性を周知した（パンフレット配布数：17,714部）。 ・食のイベントにおける食中毒を防止するため、事業者に対しパンフレットを活用した事前指導及び当日の現地指導を行った（施設監視件数2,076件）。また、地域のバザーにおける食中毒を防止するため、パンフレットを活用して窓口指導や講習会を行った（窓口指導件数：88件）。 2 美容の安全・安心の推進 ・まつ毛エクステンション等美容施術による健康被害防止に関するパンフレットを配布した（パンフレット配布数：6,000部）。 ・はさみやコーム等切皮器具のATP値（汚れの指標）を調査し衛生指導を行った。 ・まつ毛エクステンションの施術を受けている市民、及び施術を行っている美容従事者を対象に、講習会を開催した（講習会8回、受講者数357人）。				
	指標内容		27年度目標	27年度実績	達成率	事業の進捗状況
活動の指標	講習会のべ開催数		105	88	84%	b
成果の指標	食中毒事件数及び食中毒疑い調査件数(生食肉関係)		0	26	-	
補足	講習会については、参加者が多く参加できる講習会場で実施したので、開催数は減少したが、参加者数は増加した。					

中央区地域防犯対策事業		所管課	中央区総務部総務課		27年度事業費	1,810	千円
					28年度事業費	1,720	千円
対象	中央区民	目 地域の防犯活動を支援することで、住民の防犯意識の高揚を図るとともに、自主防犯活動が活発となり、地域の犯罪抑止力が強化される。					
実施内容	①NCC活動による各校区部会が実施する防犯活動に参加 ②児童の登校時間帯における見守り活動を実施 ③防犯活動に必要な物資の支援（反射電柱幕、LEDライト、自転車用ワイヤーロック等） ④中央警察署主催の防犯キャンペーンに随時参加 ⑤安全安心まちづくりニュースを毎月各校区へ配布 ⑥落書き消しボランティア支援（大名、赤坂、当仁校区、天神3丁目の落書きけし活動に対し溶剤等を提供） ⑦防犯カメラ設置補助金を活用した支援の促進 ・ 設置団体：地行1丁目2区(2台)、薬院2丁目2区(2台)、港1丁目2区(2台)、天神5丁目2区(3台)、春吉1丁目2区(1台)、春吉6番丁(4台)、今泉2丁目2区(2台)、梅光園2丁目(2台)、大宮1丁目2区(2台)、天神3丁目1,3区(7台)						
	指標内容	27年度目標	27年度実績	達成率	事業の進捗状況		
活動の指標	防犯活動に対する支援を行う校区数	14	14	100%	a		
成果の指標	中央区内で発生する街頭犯罪認知件数（万引きを除く）	2,200	1,742	126%			
補足	－						

区のまちづくり目標総括シート

南区	いきいき南区 くらしのまち ～身近な自然とふれあい みんながつながり支え合う～
取組みの方向性	○人のつながりや交流が大切にされ、地域で支え合い・助け合うくらしやすいまち ○みんなにやさしい、安全で安心して住み続けられるまち ○那珂川やため池、油山などの自然がさらに身近に感じられるうるおいとやすらぎのあるまち ○大学や隣接地域との連携・交流や文化活動などが盛んで、活気あふれるまち

1 区のまちづくりの目標に関する現状や課題

		年少人口（0～14歳）		生産年齢人口（15～64歳）		老年人口（65歳以上）		総数
H12	南区	35,937	(14.8%)	174,163	(71.7%)	32,830	(13.5%)	243,039
H17		34,007	(13.8%)	173,480	(70.6%)	38,204	(15.5%)	246,367
H22		33,528	(13.6%)	167,308	(68.0%)	45,186	(18.4%)	247,096
H27		34,761	(13.6%)	164,930	(64.6%)	54,386	(21.3%)	255,142
	全市	201,544	(13.2%)	999,401	(65.2%)	311,166	(20.3%)	1,531,919
		高齢者単独世帯数		単独世帯数		全世帯		
H12	南区	6,613	(6.3%)	42,016	(40.0%)	104,999	*H27人口は9.1時点の推計人口 *総数には年齢不詳を含む。 年齢構成比算出にあたっては 総数から年齢不詳を除外。	
H17		7,514	(6.9%)	43,813	(40.3%)	108,734		
		9,892	(8.8%)	46,220	(41.2%)	112,306		
H22		59,995	(8.5%)	337,103	(47.7%)	706,428		

●人のつながりや交流が大切にされ、地域で支え合い・助け合うくらしやすいまち

- ・少子化が進行する中、母親が子育てに不安・負担を感じて孤立化することがないよう、安心して生み育てられるための施策や、子どもが健やかに育つための施策が求められている。
- ・高齢化率が20%を超える校区が過半となっており、高齢者が心身ともに健康で社会と繋がりを持って暮らせるよう応援する施策がますます重要。
- ・地域活動の担い手不足が顕在化しており、地域の多様な主体が持つ資源を、地域課題の解決や活性化に活かす共助の取組みが必要となっている。

●みんなにやさしい、安全で安心して住み続けられるまち

- ・高齢者のみの世帯の割合が15.7%（H22 国調）と7区中最も高く、災害時要援護者の支援方法の確立等が課題。
- ・外国人居住者が増加しており、ゴミ出しルールや生活マナー等をわかりやすくサポートするとともに、地域住民との相互理解により、外国人も地域の一員として互いに暮らしやすい環境づくりが必要。

●那珂川やため池、油山などの自然がさらに身近に感じられるうるおいとやすらぎのあるまち

- ・南区の景観の大きな特色である56か所のため池をはじめ、油山や那珂川などの身近な自然環境を守り育むとともに、健康づくりなどにも活かしていくことが重要。

●大学や隣接地域との連携・交流や文化活動などが盛んで、活気あふれるまち

- ・区内及び周辺部には7つの特色ある大学・短大が立地しており、その専門的知識や人材などを住民生活の課題解決等に活かす取組みが重要。
- ・西鉄天神大牟田線からも遠い区西南部地域では、道路交通網の強化や公共交通の利便性向上など、地域の活性化に向けた取組みが求められている。

2 目標実現に向けた今後の取組みの方向性

●人のつながりや交流が大切にされ、地域で支え合い・助け合うしやすいまち

- ・新米ママや若年ママのための親子セミナー、発達が気になる子どもと親が集えるサロンの開設など、育児不安を軽減し、孤立化や虐待への移行を予防するとともに、子育て情報の提供や、子どもの正しい生活リズムの普及啓発などに取り組み、みなみっ子の元気な成長を応援。
- ・高齢者の健康づくりや社会参加、認知症等に関する講座開催、地域で高齢者を見守るしくみづくりなどを進め、高齢者が元気で心豊かな人生を送れるよう応援。
- ・企業や大学等の多様な主体が有する、人やモノなど様々な資源をまちづくりに活かすことで、コミュニティの活性化を図る。

●みんなにやさしい、安全で安心して住み続けられるまち

- ・災害時における要援護者をはじめとする住民の安全確保のため、地域と共働で防災・防犯意識の醸成、組織や従事者の育成、訓練などに取り組むとともに、ワークショップやセミナーなどを通じて、先進的な地域の取組み事例を紹介し、全体の意識向上につなげる。
- ・外国人と地域住民の共存のため、ワークショップや交流会等により相互理解を深めるきっかけづくりを行う。

●那珂川やため池、油山などの自然がさらに身近に感じられるうるおいとやすらぎのあるまち

- ・身近な自然やまちの魅力を再発見し、地域への誇りと愛着を深めるためのさまざまな取組みを推進。

●大学や隣接地域との連携・交流や文化活動などが盛んで、活気あふれるまち

- ・住民を対象とした大学出版前講座や公開講座など、大学と地域をつなぐ事業を推進。
- ・那珂川町との交流事業や、桧原桜を活かしたまちづくり等を推進。
- ・地域拠点である長住・花畑地域を含む区の西南部地域の活性化に向けて検討。

事業一覧シート

【南区】いきいき南区 暮らしのまち
～身近な自然とふれあい みんながつながり支え合う～

元気ハツラツみなみっ子応援事業 (Aみなみっこ子育て支援事業、B子育て情報マップ作成)		所管課	南区保健福祉センター 地域保健福祉課 [A] 子育て支援課 [B]	27年度事業費	1,294 千円
				28年度事業費	1,870 千円
対象	[A]育児不安を感じやすい若年・新米の母親、発達が気になる子どもの母親 [B]乳幼児の保護者全般	目的	育児不安が解消して、虐待のリスクが軽減している。安心して楽しく子育てしている。		
実施内容	[A]みなみっこ子育て支援 ・育児不安を感じやすい層に早期にアプローチし支援するため、下記事業を実施 ①1歳未満の乳児を持つ若い母親対象の交流会「プチママ☆あつまれっ！」 ②初めて子育てをする生後間もない乳児の母親対象の「生後1～3ヶ月新米ママのための親子セミナー」 ③発達障がいのある子どもと保護者のためのサロン「みなみん」（区内の大学との共働）、保護者向けプチ講座、一般向け講座 ④子どもの生活リズム向上のため普及啓発（長時間メディア視聴注意喚起含む）（パンフレット作成）				
	[B]南区子育て情報マップ作成・配布 ・中学校区ごとに作成し、こにちは赤ちゃん訪問、子どもプラザ、子育て支援課窓口などで配布（区ホームページからダウンロードも可能） ※「子どもの生活リズム向上普及啓発」は、H26nをもって終了				
指標内容		27年度目標	27年度実績	達成率	事業の進捗状況
活動の指標	①、②、③の事業への合計参加者数[A]	460	481	105%	b
成果の指標	セミナー、サロン終了アンケートにて「満足した」と回答した割合[A]	94	92	98%	
補足	—				

いきいきシニア応援事業 （Aアクティブライフのための健康きっかけづくり事業、B食に着目したアクティブエイジング推進事業、C南区耳バリアフリープロジェクト、Dお・も・い・や・リネットワーク事業）		所管課	南区保健福祉センター 地域保健福祉課 [A, D] 健康課・衛生課 [B] 総務部企画振興課 [C]		27年度事業費	1,805 千円
					28年度事業費	2,482 千円
対象	[A]概ね60歳前後の方 [B]元気な高齢者 [C]聞こえが不安な高齢者 [D]支援が必要な高齢者	目的	[A, B, C]高齢者が健康で、生きがいを持って、いきいきと暮らしている。 [D]高齢者が、地域全体で見守られ、住み慣れた地域で安心して生活できる。			
実施内容	[A]アクティブライフのための健康きっかけづくり事業 ・健康づくり（生活習慣病予防・栄養・運動等）と社会参加をテーマに「健康きっかけづくり講座」を実施し、講座の内容をホームページに掲載					
	[B]食に着目したアクティブエイジング推進事業 ①香蘭女子短期大学を会場とし災害食レシピコンクールを行い、優秀作品のレシピ集を作成 ②「いきいきシニアのためのレシピ」の啓発 ・純真短期大学との共働で、レシピを活用した料理教室を実施（学生や地域の高齢者、食進会の方が参加して交流） ・食育月間パネル展や南区シニア祭り、南区健康フェア、みなみく・さるく、スーパーでのレシピ紹介コーナー等で配布 ③生活習慣病予防月間の食育講演会をサイエンスカフェ形式で開催（講演と実技、手作りおやつを試食をしながら交流）					
	[C]南区耳バリアフリープロジェクト ・九州大学大橋キャンパスと共同で開発したヒアリング・ループの機器貸し出しを実施					
	[D]お・も・い・や・リネットワーク事業 ・地域全体で自主的に高齢者を支援する取組みを希望する2校区に対して、体制づくりの支援を実施。 ①ワークショップ・研修会（2回） ②関係者による定例会議（18回） ③校区避難訓練・防災訓練、地域カフェ、徘徊高齢者の支援体制づくり等、校区が取り組む具体的な取組みへの支援 ④校区内の福祉施設・介護保険事業所と校区住民とのネットワークづくり ⑤市社協CSW（コミュニティソーシャルワーカー）派遣による町単位及び個別支援					
	指標内容	27年度目標	27年度実績	達成率	事業の進捗状況	
活動の指標	講座参加者数 [A]	127	64	50%	b	
成果の指標	参加者同士で交流できたと回答した人の割合 [B]	100	91.6	92%		
補足	—					

南区防災・防犯支援事業		所管課	南区総務部総務課		27年度事業費	3,863	千円
					28年度事業費	4,491	千円
対象	南区の住民	目的	地域と共働し，防災・防犯意識の醸成，組織や従事者の育成，訓練などに取り組むとともに，校区独自の活動を支援し，安全で安心な住みよいまちづくりを進める。				
実施内容	○防災連絡会の実施 ・各校区自主防災組織代表者による連絡会を実施						
	○災害時要援護者避難支援対策への取組 ・お・も・い・や・りネットワーク事業との連携 野多目校区（防災訓練の実施） ・同意者名簿の提供（野多目校区 外20校区）						
	○防犯物品支援（5万円×24校区）						
	○防犯推進及び青パト連絡会の開催 ・各校区防犯組織代表者による連絡会を実施						
	○青パト立ち上げ支援 新規に2校区（三宅・西花畑）が青パト車両を導入 ※H28nから，「南区地域防災支援事業」と「南区地域安全・安心まちづくり事業」に分離						
		指標内容	27年度目標	27年度実績	達成率	事業の進捗状況	
活動の指標	災害時要援護者台帳覚書締結校区数		21	21	100%	a	
成果の指標	覚書締結校区中，避難指示時に要援護者として把握している人の安否確認を実施できた校区数		20	－	－		
補足	要援護者の安否確認を必要とする災害が、H27nに発生しなかった。						

まちのよかところ再発見事業			所管課	南区総務部企画振興課	27年度事業費	1,855	千円
					28年度事業費	1,296	千円
対象	南区の住民 ほか		目的	那珂川やため池、油山などの自然や魅力的なスポットをより身近に感じることで、南区により愛着を持ってもらう。			
実施内容	・ 南区カレンダーの作成・配布 ・ 南区ウォーク&トーク実施（4回）、イベントマニュアルの作成 ・ 那珂川河川看板整備						
	※「水辺や緑に親しむまちづくり事業」を再編し、H27nから「まちのよかところ再発見事業」に事業名変更						
	指標内容			27年度目標	27年度実績	達成率	事業の進捗状況
活動の指標	南区カレンダー配布枚数			2,400	2,338	97%	a
成果の指標	市政に関する意識調査：自然環境の豊かさに満足(南区)			80	80.6	101%	
補足	－						

大学と地域の縁むすび事業		所管課	南区総務部企画振興課		27年度事業費	689	千円
					28年度事業費	689	千円
対象	南区の住民　ほか	目	南区に所在する大学・短大が持つ専門的人材や知的財産を活用して住民のくらしの課題解決に生かす 取組みを進めるとともに、学生と地域との交流を促進する。				
実施内容							
	・南区出前講座（大学版）の実施 ・南区大学公開講座の開催 ・南区大学連絡会議の開催 ・南区魅力ある地域づくり懇談会（学生版）の開催 ・南区大学情報バンクの運営						
	指標内容		27年度目標	27年度実績	達成率	事業の進捗状況	
活動の指標	出前講座（大学版）の開催数		30	34	113%	a	
成果の指標	市政に関する意識調査：芸術・文化水準に満足(南区)		60	59.8	100%		
補足	－						

区のまちづくり目標総括シート

城南区	豊かな暮らしがあるまち・城南区 ～大学・自然と共生し、地域で支え合う安全で安心なまちづくり～
取組みの方向性	○安全で安心して暮らせるまち ○地域で支えあう、ぬくもりのあるまち ○地域と大学が共生するまち ○自然環境を大切にするまち

1 区のまちづくりの目標に関する現状や課題

		年少人口（0～14歳）		生産年齢人口（15～64歳）		老年人口（65歳以上）		総数
H12	城南区	16,704	(13.3%)	92,827	(73.8%)	16,212	(12.9%)	126,468
H17		16,281	(12.7%)	92,145	(72.0%)	19,483	(15.2%)	128,663
H22		16,495	(12.9%)	88,231	(69.1%)	22,940	(18.0%)	128,659
H27		16,892	(13.0%)	84,684	(64.9%)	27,888	(21.4%)	130,439
	全市	201,544	(13.2%)	999,401	(65.2%)	311,166	(20.3%)	1,531,919
		高齢者単独世帯数		単独世帯数		全世帯		*H27人口は9.1時点の推計人口 *総数には年齢不詳を含む。年齢構成比算出にあたっては総数から年齢不詳を除外。
H12	城南区	3,381	(5.7%)	28,349	(47.9%)	59,194		
H17		4,132	(6.8%)	28,615	(47.2%)	60,655		
		5,275	(8.5%)	29,678	(47.7%)	62,189		
H22		59,995	(8.5%)	337,103	(47.7%)	706,428		
	全市							

●安全で安心して暮らせるまち

- ・H21.7に発生した集中豪雨、樋井川水系の河川氾濫による浸水被害対策については、対象校区での水害避難ガイドブックの作成、それを契機とした自主防災組織の活性化や、県の樋井川浚渫工事等により整備されてきている。今後は、H22.7に発生した油山の土石流の経験なども踏まえ、地域防災力の強化や災害に強いまちづくりを着実に進めることが必要。
- ・城南区では全市平均と比べても年少人口の割合が低く、少子化が進んでおり、安心して生み育てられる環境づくりが必要。

●地域で支え合う、ぬくもりのあるまち

- ・城南区では全市平均を上回るスピードで高齢化が進んでおり、独居や認知症などの高齢者問題への取り組みとともに、高齢になっても住み慣れたまちで自立した生活を安心して続けられるよう、地域で支え合うシステムづくりが求められている。

●地域と大学が共生するまち

- ・区内にある福岡大学、中村学園大学の学生数は約2万5千人で、区人口の約2割に相当する。大学の高い教育研究機能や設備、専門的知識を持つ人材などを地域課題の解決に活かす取組みが求められている。

●自然環境を大切にするまち

- ・区域の南部に位置する油山、区域を貫流する樋井川など、身近にある豊かな自然環境を次世代に継承していくとともに、住みやすい環境づくりに活かすことが必要。

2 目標実現に向けた今後の取組みの方向性

●安全で安心して暮らせるまち

- ・地域や大学と連携し土砂災害対策を進め、危険箇所の調査・避難訓練等を行う予定としており、地域の自主防災組織への活動支援や普及啓発など、継続して地域防災力の向上を図る。
- ・月齢に応じた子育て情報やトピックスなどを配信する携帯用メールマガジン「子育てにつこりんメール」において、アンケートによりニーズを把握し、必要な情報を発信するなど、安心して生み育てられる環境づくりを推進。

●**地域で支え合う、ぬくもりのあるまち**

- ・超高齢化社会に対応するため、地域活動を担う人材の育成支援、地域の見守りネットワークの強化など、地域で支え合うまちづくりを推進する。
- ・自治協議会などの地域団体と共働して、参加者自身の健診結果を持ち寄り、校区単位の健康課題をテーマとした健康講座をシリーズで開催し、区民の自主的な健康づくりを促進。

●**地域と大学が共生するまち**

- ・大学・大学生の地域活動への参画を促進するため、地域と大学・大学生との定期的な情報交換や大学生への地域活動情報発信の仕組みづくり、共働事業などを行い、大学を生かしたまちづくりを推進。

●**自然環境を大切にするまち**

- ・油山の四季折々の魅力や、ハチクマの渡りが観察できる日本有数の観察スポットである片江展望台でのハチクマウォッチングの開催をPRするなど、自然環境を大切にするまちづくりを推進。

事業一覧シート

【城南区】豊かな暮らしがあるまち・城南区
～大学・自然と共生し、地域で支え合う安全で安心なまちづくり～

防災対策事業		所管課	城南区総務部総務課		27年度事業費	650	千円
					28年度事業費	714	千円
対象	①各校区自主防災組織 ②土砂災害危険地区住民 ③城南区災害対策本部職員	目的	①自主防災組織を中心に自助共助が行えるようになる。 ②土砂災害に対する備え及び自助共助が行えるようになる。 ③災害時に遅滞なく対応できるようになる。				
	実施内容 ○土砂災害対策事業として、「土砂災害講演会」、土砂災害危険区域の校区ごとに「土砂災害警戒区域現地視察」、 「土砂災害講習会・DIG（災害図上訓練）」「土砂災害避難行動訓練」を、地域・大学とも連携して実施した。 ○地域自主防災組織の強化 各校区自主防災組織による防災訓練、DIG（災害図上訓練）、HUG（避難所運営ゲーム）を支援、指導。 ○市民総合防災訓練（城南区会場）として、田島校区（田島小学校）で、大雨を想定した防災訓練を実施した。						
	指標内容		27年度目標	27年度実績	達成率	事業の進捗状況	
活動の指標	該当校区での土砂災害対策関連事業の回数		12	10	83%	a	
成果の指標	校区での土砂災害対策関連事業の参加者		360	464	129%		
補足	－						

安全安心のまちづくり		所管課	城南区総務部総務課		27年度事業費	1,752	千円
					28年度事業費	1,628	千円
対 象	①地域住民 ②城南区防犯推進協議会 ③校区の防犯指導者	目 的	地域住民の防犯意識が向上し、それにより地域の防犯力の向上を目指す。 地域防犯活動の活性化。				
実 施 内 容	①城南区防犯推進協議会による防犯活動の推進 ②安全安心マップの改訂（堤丘校区） ③校区パトロール活動支援 ④高齢者を対象とした防犯啓発 ⑤街頭キャンペーンの実施 ⑥防犯指導者研修 ⑦地域防犯活動支援						
		指標内容	27年度目標	27年度実績	達成率	事業の進捗状況	
活動の指標	安全安心マップの改訂校区数		2	1	50%	C	
成果の指標	校区の危険箇所再確認校区数		2	1	50%		
補足	－						

城南区子育て応援メルマガ事業		所管課	城南区保健福祉センター健康課		27年度事業費	1,198	千円
					28年度事業費	1,200	千円
対象	・就学前までの子どもをもつ保護者 ・妊娠中の人	目的	子育て中の保護者が、孤立感や不安感を解消し、安心して楽しく子育てできる環境を整える。				
実施内容	月齢に応じた子育て情報を月1回配信するほか、子育てに関する幅広い情報を集め配信した。 また、登録者アンケートを実施して情報のニーズを調査し、その結果を区の関係6課で構成するワーキンググループで検証し、配信内容に反映した。 ①配信件数：83件（平均月6.9件） （内訳）月齢に応じた子育て情報：12件（月1回） 随時号：71件（平均月5.9件） ②登録者数：1,957人（年度中350人増）						
	指標内容		27年度目標	27年度実績	達成率	事業の進捗状況	
活動の指標	配信件数		60	83	138%	b	
成果の指標	登録率（％） 登録者数（0～3歳）/城南区推計人口（0～3歳）		34.0	28.4	84%		
補足	－						

地域を支える人材発掘・育成支援事業		所管課	城南区総務部地域支援課		27年度事業費	232	千円
					28年度事業費	490	千円
対 象	○各校区自治協議会等における地域活動者 ○小中学校PTA活動者 ○大学生（福岡大学、中村学園大学）	目 的	○校区自治協議会での地域活動を担う新たな人材が確保される。 ○地域活動者のスキルアップが図れる。				
	研修会や意見交換会を開催 ○人材発掘事業 ①PTA活動者への地域活動研修（七隈校区） ②大学生への地域活動ガイダンス（七隈校区） ○人材育成事業 ①地域リーダー養成研修（堤地区） ②会計担当者研修（各校区・地区自治協議会）						
実 施 内 容							
	指標内容	27年度目標	27年度実績	達成率	事業の進捗状況		
活動の指標	人材発掘・育成支援事業（研修）実施回数	8	14	175%	a		
成果の指標	地域と大学の交流事業数	50	76	152%			
補足	H27n実績はH28.7に算出予定						

区民の自主的な健康づくりの促進		所管課	城南区保健福祉センター地域保健福祉課		27年度事業費	269	千円
					28年度事業費	240	千円
対象	40歳以上の城南区民		目的	自治協議会との共働により、自主的に健康づくりに取り組む市民を増やす。			
実施内容	○新たな2校区（堤、堤丘）で実施。						
	○自治協議会と校区の健康課題を共有し、健康講座のテーマを決定。						
	○参加者自身の健診結果を持ち寄り、自己の健康課題と校区の健康課題をテーマとした健康講座を実施。						
	○次年度からの校区での自主的な健康づくり活動を、校区役員等とともに検討。						
	○区役所内関係部署、および社会福祉協議会、地域包括支援センターとの意見交換会において、高齢者を中心とした健康課題や健康づくりの社会資源について情報共有した。						
	指標内容		27年度目標	27年度実績	達成率	事業の進捗状況	
活動の指標	健康講座開催校区数		2	2	100%	a	
成果の指標	自主的な健康づくり活動を開始する校区数		2	2	100%		
補足	－						

大学のあるまちづくり（大学・大学生と地域の連携交流推進）			所管課	城南区総務部生涯学習推進課	27年度事業費	876	千円
					28年度事業費	667	千円
対象	大学・大学生 地域・住民	目的	・学生と地域がふれあう活気のあるまちをつくる。 ・大学の資源（教育研究機能・施設・人材）の地域への還元促進 ・大学と地域の交流による地域課題の解決				
実施内容	○福岡大学、地域、行政で構成する「地域連携推進協議会」の円滑な運営支援及び協議会への参加 ○中村学園大学、地域、行政で構成する「地域連携推進協議会」の円滑な運営支援及び協議会への参加 ○大学と地域の情報交流の場づくり ・福岡大学地域交流サロンへ公民館だより・自治協だよりを配架 ・中村学園大学サークルリーダー研修での公民館事業案内 ・福岡大学大運動会への支援 ○大学・大学生の地域活動に対する広報 ・区役所1階大学コーナーでのチラシ配架及びポスター掲示 ・区HP、フェイスブックで大学関係の記事を発信						
	指標内容			27年度目標	27年度実績	達成率	事業の進捗状況
活動の指標	地域と大学の交流事業数、及び行政と大学の連携事業数			60	87	145%	a
成果の指標	地域と大学の交流事業数			50	76	152%	
補足	H27n実績はH28.7に算出予定						

区のまちづくり目標総括シート

早良区	ひと・みず・みどりが光り輝く「早良区」 ふれあいと交流のあるまち
取組みの方向性	○お互いが支え合い安心して暮らせるまち ○早良区の特性を生かした魅力あるまち ○地域の魅力を生かしたまち ◆～活力とにぎわいのあるまち～ 北部 ◆～地域の新しい拠点となるまち～ 中部 ◆～豊かな自然を生かした市民の憩いのまち～ 南部

1 区のまちづくりの目標に関する現状や課題

		年少人口（0～14歳）		生産年齢人口（15～64歳）		老年人口（65歳以上）		総数
H12	早良区	32,337	(15.9%)	145,141	(71.5%)	25,570	(12.6%)	203,656
H17		31,417	(15.0%)	145,996	(69.8%)	31,730	(15.2%)	209,570
H22		31,510	(14.9%)	142,113	(67.4%)	37,234	(17.7%)	211,553
H27		32,835	(15.1%)	137,572	(63.4%)	45,766	(21.1%)	216,839
	全市	201,544	(13.2%)	999,401	(65.2%)	311,166	(20.3%)	1,531,919
		高齢者単独世帯数		単独世帯数		全世帯		
H12	早良区	4,687	(5.8%)	26,881	(33.0%)	81,425	*H27人口は9.1時点の推計人口 *総数には年齢不詳を含む。 年齢構成比算出にあたっては総数から年齢不詳を除外。	
H17		6,181	(7.1%)	30,195	(34.9%)	86,621		
H22		7,467	(8.3%)	32,128	(35.6%)	90,134		
H27		59,995	(8.5%)	337,103	(47.7%)	706,428		
	全市							

●お互いが支え合い安心して暮らせるまち

- ・核家族化，地域コミュニティの希薄化等の社会状況の変化により，地域において子育て家庭が孤立化している。子育てへの不安感を軽減し，児童虐待，発達障がい等，支援を要する子どもや家庭をめぐる問題に対応する必要がある。
- ・早良区の H26n 特定健診受診率は 25.5%であるが，40 歳代は 14.2%，50 歳代は 17.7%と低い。生活習慣病予防の重要な年代である働きざかり世代を対象に，健康づくりの啓発活動を強化する必要がある。
- ・団塊世代の大量退職期の到来を契機に，定年退職後に必要な情報提供を行うとともに，地域活動に参加しやすいきっかけづくりにより，地域の担い手不足解消等へ繋げていくことが求められている。
- ・福岡市における犯罪認知件数は，H14 をピークに減少傾向にあるが，早良区においてはひったくりや自転車盗の街頭犯罪が多い状況にある。地域住民が主体となったワークショップ等の開催は，校区の安全活動を活性化し，街頭犯罪の防止に繋がると期待できるので，継続的な安全活動となるよう，地域住民の意識向上を図るべく，区のサポート体制の構築・啓発活動の強化を図る必要がある。

●早良区の特性を生かした魅力あるまち

- ・早良区を代表する脊振山系や室見川などの豊かな自然を保全し，次世代へ引き継いでいく必要がある。
- ・H24.5 に地域の要望のもと誕生した「サザエさん通り」を生かしたまちづくりなど，早良区の魅力を生かした地域活性化や認知度の向上に取り組む必要がある。
- ・早良区中南部地域における，区レベルの行政サービスを補完する施設として，地域交流センターの早期整備を図る必要がある。

●地域の魅力を生かしたまち

- ・早良区南部地域は少子高齢化や農林業の後継者不足など，地域の活力低下が懸念されており，地域や行政が共働で南部地域の魅力を生かしたまちづくりを推進する必要がある。

2 目標実現に向けた今後の取組みの方向性

●お互いが支え合い安心して暮らせるまち

- ・発達が気になる親子支援のための子育てサロン「もちもち」の開催や、子育て情報誌・子育て情報マップの配布、「さわらっ子育て応援ホームページ」での情報発信などにより、子育て世代の不安を軽減するとともに子育てを応援する。また、児童虐待防止の研修、啓発ポスターや卓上のぼりを配布し児童虐待防止のための啓発を行う。
- ・生活習慣病予防の重要な年代である働きざかり世代を対象に、健康づくりへの関心を行動に結びつけるための啓発活動を行う。
- ・シニア世代向けセカンドライフの応援の一環として「シニアのための智恵袋」を活用した地域人材の発掘にかかる事業を行うなど、地域の担い手増加に取り組む。
- ・他の校区での安全活動の実施状況やその活動による成果の事例などについて校区間の意見交換会を開催し、活動の手法や問題点を全校区で共有する。また、それに対する区としてのフォローアップの手法を検討し、校区に還元する。

●早良区の特性を生かした魅力あるまち

- ・室見川水系一斉清掃を継続するとともに、ポイ捨てをさせない環境づくりとして、啓発や防止策の検討を引き続き行う。
- ・「サザエさん通り」の認知度向上やさらなる地域活性化のため、H25nに策定した構想に基づき、ハード・ソフト両面からの施策の充実や広報の強化を官民共働で行う。
- ・「さわらの秋」事業をはじめとして、早良区の魅力について、区内外の住民への認知度を高めるための広報戦略や地域資源のブランド化に取り組む。

●地域の魅力を生かしたまち

- ・早良区南部地域の魅力を生かしたまちづくりを進めるため、「早良みなみ塾」実行委員会を中心に、検討・実施するなど、地域の魅力を生かした取組みを行う。

【早良区】ひと・みず・みどりが光り輝く「早良区」 ふれあいと交流のあるまち

さわらっ子育て応援事業（発達が気になる親子支援、子ども虐待防止、子育て情報の充実）		所管課	早良区保健福祉センター子育て支援課・地域保健福祉課		27年度事業費	1,204 千円
					28年度事業費	1,456 千円
対象	早良区内の子育て家庭		目的 子育てに不安や心配があっても、「相談できる人や場所があるから大丈夫」と安心して生み育てることができ、子どもたちが幸せにすくすくと育つ。			
実施内容	①発達が気になる親子支援 ・子育てサロン「もちもち」の開催 12回 参加人数 127組 301人 「もちもち」ミニ講座の開催 9回 参加人数 102人 「もちもち」ペアレントメンターによる体験談 2回 参加人数 24人 ・子育て講演会の開催 2回 参加人数 29人					
	②子ども虐待防止に向けた取組 ・全体研修会1回開催 参加人数 134人 ・支援者向け研修 1回開催 参加人数 46人 ・児童虐待防止啓発ポスター 198箇所 卓上のぼり 176箇所					
	③子育て情報の充実 ・子育て情報マップの時点修正（北部と共通部分）の改変及び増刷 2,000部 ・さわらっ子育て応援ホームページPRカード作成 8,000枚 ・さわらっ子育て応援ホームページ関係課会議の開催 3回					
	指標内容		27年度目標	27年度実績	達成率	事業の進捗状況
活動の指標	虐待防止講座開催数		38	38	100%	b
成果の指標	児童虐待防止についての理解		100.0%	91.6%	91.6%	
補足	－					

働きざかりの健康づくり			所管課	早良区保健福祉センター健康課	27年度事業費	168 千円
					28年度事業費	168 千円
対象	生活習慣病予防の重要な年代である働きざかり世代（20歳代～50歳代）		目的 健康づくりへの意識・関心を高め、実際の行動に結びつく。区全体が健康となるまちづくりをめざす。			
実施内容	①健康情報の発信 レシピ等のリーフレット等を作成し、商店街の協力店舗（健康づくり応援団の店）を通じて健康情報を発信。（健康づくり応援団の店への配布作業はヘルスメイトが協力） ②イベント等の機会を捉えた健康づくりに関する啓発 関係機関と連携し、健康づくりをテーマとしたイベント等に参加するなどし、区民の健康に対する関心を高めた。					
	指標内容			27年度目標	27年度実績	達成率
活動の指標	健康づくり応援団の店と連携したレシピ等の配布数			1,700	4,600	271%
成果の指標	健康づくりに取り組んでいる市民（20歳以上）の割合（％）			－	－	－
補足	健康日本21福岡市計画の成果指標を目安とし、啓発事業を継続					
				a		

シニアのための智恵袋		所管課	早良区保健福祉センター福祉・介護保険課		27年度事業費	527 千円
					28年度事業費	900 千円
対象	早良区内の今後定年を迎えるシニア世代（概ね50～65歳）	目的	当該世代のセカンドライフへの不安解消、及び社会参加、生きがいづくりの促進			
実施内容	1. 冊子の作成 ◇作成部数 4,000部（H28.2） ※改訂 ◇配付場所 関係各課窓口・区役所情報コーナー、市情報プラザ等 ※アラカンフェスタでの配布（1000部）					
	2. シニアのための智恵袋講演会の開催 ◇参加者数 302名（H28.2.28開催） ◇内 容 講演会「ふくおか今昔モノ語り」（講師：大塚ムネト氏（劇団「ギンギラ太陽」S主宰）） ◇開催場所 早良市民センター 3. 情報発信 ◇冊子改訂版配布にあわせ「シニアのための智恵袋」ホームページを運用 ◇早良区情報玉手箱（facebook）にて、随時情報発信					
		指標内容	27年度目標	27年度実績		事業の進捗状況
活動の指標	シニアのための応援イベント・講座の参加者数		400	302	75.5%	a
成果の指標	区ボランティアセンターへの50代以上の登録者数 ※介護支援ボランティアを含む。		160	345	215.6%	
補足	冊子の改訂に併せて市民センターで講演会を開催したが、参加人員は目標値に達しなかったものの、昨年より100名以上多い参加者があり、ミニ講座とともに好評であった。					

校区安全安心まちづくり推進事業			所管課	早良区総務部総務課		27年度事業費	1,305 千円
						28年度事業費	1,349 千円
対象	地域住民	目的	地域住民の自治意識、安全活動をさらに活性化させ、地域・警察・行政が一体となって犯罪を未然に防止する総合的な活動にまで展開させていくことで、安全で安心して快適に暮らせるまちを目指す。				
実施内容	毎年2校区を対象に、住民自らが生活している地域について、ワークショップ形式により地域全体の危険箇所等の点検を行い、まちづくり基本計画の策定や、安全安心マップの作成等ソフト・ハード面の整備について支援を行った。 H27nは入部校区、脇山校区について実施。						
	指標内容			27年度目標	27年度実績	達成率	事業の進捗状況
活動の指標	まちづくり基本計画を策定した校区数			17（累計）	17（累計）	100%	a
成果の指標	－			－	－	－	
補足	－						

室見川水系一斉清掃		所管課	早良区地域整備部生活環境課		27年度事業費	831 千円
					28年度事業費	807 千円
対象	早良区民	目 的	早良区民と共働で室見川水系を上流から下流まで一斉に清掃することで、室見川水系の自然環境を守るとともに環境意識の向上を図る。			
実施内容	①福岡県福岡県土整備事務所へ除草依頼（H27. 7） ②第 1 回実行委員会（H27. 9） ③各校区自治協議会等へ参加要請（H27. 10） ④一斉清掃実施（H27. 11） ⑤第 2 回実行委員会（H27. 12）					
	指標内容		27年度目標	27年度実績	達成率	事業の進捗状況
活動の指標	清掃参加者		5,000	4,877	98%	a
成果の指標	ごみ回収量（４ｔトラック台数）		10	14	140%	
補足	西区からの参加（481人・・・内数）					

さわら魅力アップ事業（さわらの秋）		所管課	早良区総務部企画課		27年度事業費	4,447 千円
					28年度事業費	3,488 千円
対象	区民・市民及び近隣市町村の住民	目的	区民が地域に愛着や誇りを持ち、より一層の関心を深めて区内を回遊し、かつ、区外からの観光客を迎え、地域経済の活性化を図る。			
実施内容	○早良区の秋の見どころ、イベント、味覚等を紹介するパンフレットを作成し、各区役所や区内公民館、観光案内所、博多・天神駅等に設置した。（A4版 16ページ 印刷部数14,000部）					
	○マスコミ、メディアを活用した広報活動					
	○RKBラジオまつりへ「さわらの秋」ブースとして出店。特産品等を販売し、「さわらの秋」のPRを行った。					
	○「さわらの秋」体験イベントの実施					
	○「さわらの秋」特産市の開催					
	○モニターツアーの実施					
	指標内容		27年度目標	27年度実績	達成率	事業の進捗状況
活動の指標	協賛店		50	50	100%	a
成果の指標	事業満足度（アンケート集計）（％）		90.0	94.0	104%	
補足	－					

さわら魅力アップ事業（早良区の魅力情報発信）			所管課	早良区総務部企画課	27年度事業費	1,976 千円
					28年度事業費	2,844 千円
対象	区民 市民及び福岡市近郊の住民	目的	区政情報の発信により信頼される区役所となる。地域の見どころや地域活動の情報発信により、多くの住民が地域に愛着を持ち、活動に参加する。区近郊から多くの来街者が訪れる。			
実施内容	①区の魅力を紹介するHP「早良区彩”食”健”美”の玉手箱」内に新規動画・コンテンツを制作した他、お出かけスポットの追加や地域の催し情報等を随時掲載し、内容を充実させた。					
	②区FB「早良区情報玉手箱」では、担当者への研修を実施した他、所属長による自課の紹介記事の掲載依頼や投稿案を作成し各課へ掲載依頼をするなど、各課の投稿を促すための取り組みを行った。					
	③地域の見どころや催しを区民が紹介する「よかとこ情報探検隊」の取材記事を区HP及びFBに随時掲載した。					
	④区役所1階の展示スペース「さわらの四季コーナー」では、区内の自然や魅力を紹介した写真を展示。また、区の事業紹介や啓発週間の告知などを行った。					
		指標内容	27年度目標	27年度実績	達成率	事業の進捗状況
	活動の指標	区フェイスブックに掲載する所属の数	17	17	100%	a
	成果の指標	区フェイスブックへの「いいね！」の数	1,400	1,594	114%	
	補足	—				

さわら魅力アップ事業（「サザエさん通り」を生かしたまちづくり・「サザエさん通り」回遊性向上事業）		所管課	早良区総務部企画課・地域整備部地域整備課	27年度事業費	7,193 千円
				28年度事業費	6,669 千円
対象	早良区民（特に「サザエさん通り」周辺住民） 早良区「サザエさん通り」を訪れるひと	目的	「サザエさん通り」を生かしたまちづくりが進み、長谷川町子氏の足跡を後世に伝えとともに、「サザエさん通り」の認知度が向上する。また、「サザエさん通り」周辺地域の回遊性が高まり活性化した状態。		
実施内容	・「サザエさん通り」ウィークの開催 ・「サザエさん通り」を生かしたまちづくり推進協議会の開催 2回 ・「サザエさん」「マスオさん」の着ぐるみを活用した「サザエさん通り」のPR ・「サザエさん通り」バナーの維持管理 ・サザエさん像再建 ・サザエさん通りサイン整備のデザイン検討 ・磯野広場デザイン検討				
	指標内容	27年度目標	27年度実績	達成率	事業の進捗状況
活動の指標	サザエさん通りを生かした地域等との共働事業数	7	5	71%	b
成果の指標	－	－	－	－	
補足	－				

さわら魅力アップ事業（「サザエさん通り」ハッピーウエディング事業）		所管課	早良区総務部企画課		27年度事業費	149 千円
					28年度事業費	195 千円
対象	婚姻届を提出するひと 区役所来庁者	目的	窓口サービスへの満足度向上，「サザエさん通り」の認知度向上を図る。			
実施内容	・手元に残らない婚姻届の写しが入る「サザエさん通り」ポケットファイルを作成し，婚姻届受理時に配布 ・福岡市リーガルウエディング第1号夫婦へポケットファイルを渡し「サザエさん通り」撮影コーナーで記念撮影を行った					
	指標内容		27年度目標	27年度実績	達成率	事業の進捗状況
活動の指標	婚姻届件数		1,200	1,035	86%	b
成果の指標	－		－	－	－	
補足	－					

さわら魅力アップ事業（野河内溪谷魅力づくり）			所管課	早良区総務部企画課	27年度事業費	938 千円	
					28年度事業費	0 千円	
対象	区民、市民	目的	野河内溪谷への来訪者数増加				
実施内容	来訪し易い環境づくりに向け、自家用車利用による来訪者の利便性向上のため土地借上げにより野河内溪谷駐車場を設置。 野河内溪谷下流の八丁川来訪者駐車場を設置。 野河内溪谷駐車場誘導案内および八丁川来訪者用駐車場入口に看板設置。						
	指標内容			27年度目標	27年度実績	達成率	事業の進捗状況
活動の指標	—			—	—	—	a
成果の指標	—			—	—	—	
補足	—						

早良みなみ元気応援事業		所管課	早良区総務部企画課		27年度事業費	1,651	千円
					28年度事業費	1,668	千円
対象	早良区南部地域に住んでいるひと 早良区南部地域を訪れるひと		目的	早良区南部地域の課題を解決するために、これからの南部地域のあり方について考え、地域の資源を生かした活動を実施し、にぎわいを創り出し、今後の地域活動へ繋がるものとする。			
実施内容	「早良みなみ塾」の活動を支援。 ①早良みなみ塾各分科会の開催 24回（述べ136人参加） ②早良みなみ塾イベント等の実施 体験農園，脊振山系魅力発信，野河内溪谷保全活動，早良南部の歴史・文化展示，早良みなみマルシェ，早良ZINE発行						
	早良南部5校区との意見交換会を行い，「早良みなみ塾」についての今後のあり方について検討。						
	指標内容		27年度目標	27年度実績	達成率	事業の進捗状況	
活動の指標	早良区南部地域活性化に関する地域との共働事業数		10	7	70%	b	
成果の指標	イベント集客数		2,600	2,595	99.8%		
補足	－						

区のまちづくり目標総括シート

西区	自然と大学の知を生かし，安全で安心して，生き生きと暮らせるまち・西区 ～「自然・市民・大学」の3つの宝を磨きあげる～
取組みの方向性	○自然を生かし，環境にやさしいまち ○にぎわいと楽しさがあり，地域が支え合う，生き生きと暮らせるまち ○大学の知と人材を取り込んだ創造性に富むまち ○子どもから高齢者まで，安全で安心して暮らせるまち

1 区のまちづくりの目標に関する現状や課題

		年少人口（0～14歳）	生産年齢人口（15～64歳）	老年人口（65歳以上）	総数
H12	西区	26,932 (16.2%)	115,406 (69.3%)	24,275 (14.6%)	166,676
H17		28,347 (15.9%)	120,391 (67.3%)	30,026 (16.8%)	179,387
H22		30,181 (15.6%)	126,224 (65.4%)	36,540 (18.9%)	193,280
H27		31,601 (15.5%)	127,927 (62.6%)	44,566 (21.8%)	204,419
	全市	201,544 (13.2%)	999,401 (65.2%)	311,166 (20.3%)	1,531,919
		高齢者単独世帯数	単独世帯数	全世帯	*H27人口は9.1時点の推計人口 *総数には年齢不詳を含む。年齢構成比算出にあたっては総数から年齢不詳を除外。
H12	西区	3,413 (5.5%)	16,385 (26.6%)	61,579	
H17		4,375 (6.4%)	19,213 (28.1%)	68,254	
H22		5,723 (7.3%)	25,157 (32.3%)	77,880	
	全市	59,995 (8.5%)	337,103 (47.7%)	706,428	

●自然を生かし，環境にやさしいまち

- ・豊かな自然をもつ西区では，都市と自然の近接という特性を活かしたまちづくりが必要。
- ・地域での環境活動の活発化には，活動のリーダー的役割を担う人材が不可欠であるが，その人材が不足。

●にぎわいと楽しさがあり，地域が支え合う，生き生きと暮らせるまち

- ・校区や地域単位での夏祭りや地域カフェ等の開催，また地域デビュー事業等によって，地域の活性化に対する取り組みが増えているものの，市街化調整区域では，人口の減少や少子高齢化，公共交通機関の減少などの問題が顕著な地域もある。

●大学の知と人材を取り込んだ創造性に富むまち

- ・地域と九州大学が直接，連携・交流できる仕組みや関係性が少しずつ構築されてきているが，さらに大学の知識と多彩な人材を地域の人材育成やまちづくりに活かすことが必要。

*H27nの九州大学と地域との連携・交流事業数：46事業

●子どもから高齢者まで，安全で安心して暮らせるまち

- ・全校区に自主防災組織が立ち上げられ，校区・地域によって自主的な避難訓練または避難所運営訓練等が実施されつつあるが，その組織が災害時に実際に対応できる体制となるまでには，さらなる取り組みが必要。

2 目標実現に向けた今後の取組みの方向性

●自然を生かし、環境にやさしいまち

- ・人材育成講座による人材の発掘・育成を図るとともに、活動のノウハウ、情報提供等の支援などにより、自立した環境活動を促進。

●にぎわいと楽しさがあり、地域が支え合う、生き生きと暮らせるまち

- ・市街化調整区域のまちづくり活動支援や関係局と連携した協議を継続的に行うとともに、地域だけで実現・実行が困難なまちづくりの取組みについては、地域主導を維持しつつ、支援・助言を実施。

●大学の知と人材を取り込んだ創造性に富むまち

- ・公民館に九大の学生団体の情報を提供し、大学生と地域との自主的な交流事業開催を促進。
- ・九州大学及び地域の魅力づくりや活性化に取り組む学生団体と地域とをつなぎ、地域の特性にあったまちづくりに取り組む。

●子どもから高齢者まで、安全で安心して暮らせるまち

- ・地域防災専門員による校区単位の自主的な避難所運営訓練を支援するとともに、研修会の開催による住民の防災意識向上、避難訓練の実施等による実践能力向上を図る。
- ・地域・警察・行政が連携した防犯組織において、情報共有、連携強化に努め、安全で安心して暮らせるまちづくりに取り組む。

事業一覧

【西区】自然と大学の知を生かし、安全で安心して、生き生きと暮らせるまち・西区
～「自然・市民・大学」の3つの宝を磨きあげる～

地域の自治力強化に向けた校区支援事業		所管課	西区総務部地域支援課	27年度事業費		1,912 千円
				28年度事業費		1,795 千円
対象	・ 校区自治協議会 ・ 自治会・ 町内会	目的	自治会・町内会への加入率が上がるとともに、多くの住民が地域活動へ参加し、市との共働のパートナーとしてのコミュニティ自治を確立する。			
実施内容	・ 自治会・ 町内会長等役員研修の実施 ・ 自治協議会実務研修の実施 ・ 自治会・ 町内会加入促進の支援 ・ 自治会・ 町内会長表彰制度の実施 ・ 伊都土地区画整理事業地内新校区自治協議会設立支援					
	指標内容	27年度目標	27年度実績	達成率	事業の進捗状況	
活動の指標	研修会等延べ開催回数	4	4	100%	a	
成果の指標	自治会・町内会の加入状況	-	-	-		
補足	※成果指標については、市が4年に1度実施しているアンケート結果を参考にしており、H27nは、アンケート調査を実施していないため実績は未記入。					

西区市街化調整区域のまちづくり活動支援事業		所管課	西区総務部総務課		27年度事業費	931	千円
					28年度事業費	1,477	千円
対象	・市街化調整区域及びその周辺地域	目的	・市街化調整区域及びその周辺地域の主体的なまちづくり活動実施 ・地域公共交通機関の脆弱な地域における交通機関の存続				
実施内容	・「西部6校区まちづくりプラン」の実行支援 ・地域公共交通機関の確保に関する検討 ・福岡マラソン2015の地域応援に関する支援						
	指標内容		27年度目標	27年度実績	達成率	事業の進捗状況	
活動の指標	市街化調整区域のまちづくり活動の支援数		1	1	100%	a	
成果の指標	地域の主体的なまちづくり活動実施		1	1	100%		
補足	－						

大学と地域の連携・交流促進事業		所管課	西区総務部総務課		27年度事業費	1,621	千円
					28年度事業費	1,951	千円
対象	・ 西区住民 ・ 九州大学学生及び教職員	目的	住民と九州大学学生及び教職員との連携・交流が促進され、地域のまちづくりに九州大学が貢献する。				
実施内容	・ 九大生と地域住民による「伊都祭」の開催支援（負担金） ・ さいとびあを活用したサークル発表会等の開催支援 ・ 子ども向けの科学実験事業、農水畜産体験学習事業、航空・宇宙体験学習事業の実施 ・ 歴史公開講座の実施 ・ 大学と地域との連絡調整						
	指標内容		27年度目標	27年度実績	達成率	事業の進捗状況	
活動の指標	大学と地域との連携・交流事業数（全て）		39	46	118%	a	
成果の指標	大学と地域との連携・交流事業数（地域直接のみ）		20	32	160%		
補足	－						

西区防犯対策事業（地域防犯力の強化推進事業）		所管課	西区総務部総務課		27年度事業費	565	千円
					28年度事業費	2,189	千円
対象	西区の地域住民		目	地域住民自らが主体となって取り組む各種防犯活動を支援することで、市民の防犯意識の向上と街頭犯罪の抑止を進め、犯罪のない街を実現する。			
実施内容	・安全安心マップの改訂支援（3校区実施、改訂内容は地域で決定） ・地域防犯パトロールカーの車検支援事業（4校区実施） ・西区自主防犯パトロール立ち上げ及び拡充支援事業（4団体実施） ・防犯活動情報交換会の実施						
	指標内容		27年度目標	27年度実績	達成率	事業の進捗状況	
活動の指標	安全安心マップの改訂支援実施校区数		4	3	75%	b	
成果の指標	犯罪認知件数(暦年)		1997	1,705	117%		
補足	－						

地域自主防災力及び防災・危機管理体制の充実・強化		所管課	西区総務部総務課		27年度事業費	4,615	千円
					28年度事業費	4,818	千円
対象	・各校区並びに西区の防犯体制		目 防災計画の見直しや避難訓練、避難所運営訓練(HUG)等を支援し、市民の防災意識の向上を図ること 的により、自助・共助による防災力を強化し、災害に強いまちづくりを推進する。				
実施内容	・自主防災訓練等の指導・支援（25件実施） ・区総合防災訓練の実施 ・情報伝達訓練の実施 ・災害危険箇所の点検（安全安心マップ改訂時に校区に情報提供） ・自主防災組織支援物資支給事業の実施						
	指標内容		27年度目標	27年度実績	達成率	事業の進捗状況	
活動の指標	自主防災組織活動支援物資支給申請校区数		23	23	100%	a	
成果の指標	地域での防災訓練等の実施数		23	25	109%		
補足	-						

